

JET からの手紙

私のカナダマーク
～心と精神の解放～高知県黒潮町教育委員会 外国語指導助手
Tanner Halbert (タナー・ハルバート)

私のカナダマーク

さわやかな秋の日、黒潮町の JET プログラム参加者は県内の海洋堂かっぱ館と河童神社を訪れる小学校の遠足に参加しました。バスに乗ってうとうとしていると、小学生たちは日常的な単語を英語で練習しようと熱心に私たちに質問を浴びせました。彼らの粘り強さとコーヒーのおかげで、眠気はどこかに行ってしまいました。

登山口に到着したら、河童神社まで川に沿って歩き始めました。手袋を忘れた子もいたので、カイロを配り、小さくかわいい手をつないで彼らと歩きました。

数分ごとに、子どもたちは走り出して地面や草の中から、棒や石、葉っぱ、虫など、彼らの興味を引いたものを見つけていました。彼らはこれらの自然の宝物を持ち帰っても良いか、私たちの許可を得るために見せてくれました。驚くことに、当時道沿いには野生のラズベリーが生えていて、子どもたちは喜んでそれを集めて私たちにくれました。甘くてピリッとした味でした。カブトムシのプレゼントもあり、私は喜んで受け取りましたが、最後には自然に返しました。



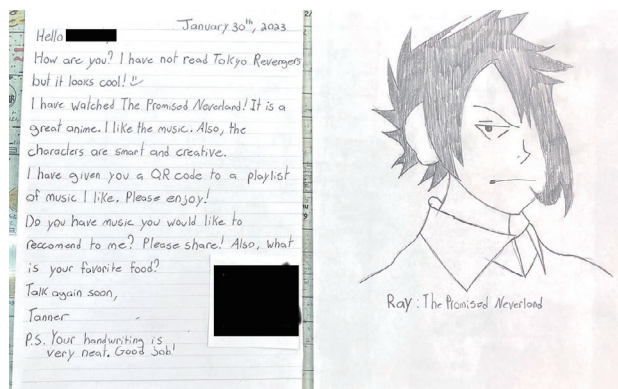
私の宝物のカエデの葉

一人の女の子が、山を赤やオレンジで彩る、色鮮やかなカエデの葉を眺めていました。彼女は拾った大きな葉を数枚私にくれて、それが私の国であるカナダのマークだと言いました。

心を開いて

私が取り組んできたことは、中学校の生徒に手紙を書くことです。さまざまな理由で学校に行けない生徒もいます。そのような生徒たちとペンフレンドになることは、とてもやりがいのある経験です。

通常、私は1ページの英語の手紙を書いたり、絵を描いたり、時には小さなプレゼントを添えたりします。手紙の内容は、漫画、音楽、スポーツなど、生徒の好きなことを尋ねる内容が一般的です。



私から生徒に宛てた手紙

何度か手紙を書かなかで、彼らをそっと励まし、身の回りの小さなことに挑戦するよう応援することができていると感じます。私は学校に戻るよう生徒を説得するためにこの手紙を書いているわけではなく、彼らを人として知り、私に心を開いてもらいたいと思っています。そして、ゆくゆくは世界にも心を開いてもらいたいと思っ

ています。それが彼らが学校に戻ることを意味するなら、それは素晴らしいことです。しかし、世界と人生は学校よりもはるかに大きいので、私はただ彼らに良い生活を送ってほしいのです。



友達と富士山の日の出

黒潮チームのご紹介

黒潮町の JET チームにスポットライトを当てずに私自身を語ることはできません。私たちは素晴らしい仕事を成し遂げてきました。私は、生徒との手紙のやりとりに加え、AJET (JET プログラム参加者の会) の活動を行ってきました。アメリカ人の外国語指導助手 (ALT) である



ティモさんによる料理教室

アン・マハフィさんは、生徒たちにラインダンスを教え、学校の寄付金集めのためのバザーに参加し、ダンススタジオを立ち上げました。南アフリカ出身の ALT であるティモニック・ユーバールさんは、母国料理の教室を



黒潮町で楽しむハロウィーン

開催し、ドローンビデオを作成し、地元のパークラン* コースを構築しました。アメリカ人の ALT であるアレックス・ファンさんは、私と同じく生徒に手紙を書き、心の交流をしています。アメリカ人の国際交流員 (CIR) であるクレイマー・リンドストロームさんは、ハロウィーンのカボチャの彫刻、サマーキャンプ、そして黒潮町で 2019 年以來の開催となった、中学生のニュージーランド派遣事業を企画してくれました。



黒潮チームで BBQ

私たちの JET スーパーバイザーである堀井凡児さんは私たちのプロジェクトを監督し、私たちを励まし、支援してくれる、上司であり、指導者であり、友人です。

私たちは力を合わせて英語の普及を促進し、それぞれの文化を共有してきました。

時々、子どもが私たちに思い出させてくれることがあります。それは、私たちは皆、この町に足跡を残しているということです。これからも私たちの活動がより良いものになるように頑張っていきたいと思います！

*毎週土曜日の朝に開催される、5 km のウォーキング、ジョギング、ランニングのイベント。世界各地で行われている。

プロフィール



Tanner Halbert (タナー・ハルバート)

カナダ・アルバータ州出身。カルガリー郊外の家族経営の農場で生まれ育つ。レスブリッジ大学で心理学を専攻し、人々の心を読む方法を習得。自分自身に挑戦し、より良い人間になり、他の人にインスピレーションを与えるために JET プログラムに参加。